

平成31年度開催「第39回全国豊かな海づくり大会」

第1回秋田県準備委員会 県農林水産部長あいさつ（要点）

- 全国豊かな海づくり大会は、水産資源の保護・管理と海の環境保全に対する理解を深めるとともに、水産業の振興・発展を図ることを目的に、昭和56年から毎年、各都道府県の持ち回りで開催されているものであり、今年の9月1日に平成31年度の本県開催が正式に決定されたところであります。
- この大会は、式典行事と放流行事、関連イベントなど、様々な行事を秋の2日間にわたり執り行うもので、衆議院議長や農林水産大臣、環境大臣をはじめ、全国から多数の方が来県される国民行事であります。このため、今から開催に向けた準備を円滑に進めていくため、本日、準備委員会を立ち上げることにいたしました。
- 県としましては、万全の体制で大会を開催することはもちろん、一過性のイベントに終わらせることなく、大会を契機に、秋田の水産は変わったと思っていただけるよう取り組んでいくことが大切であると考えております。
- 本県は、漁獲量・漁獲額こそ全国的に多くはないものの、264kmに及ぶ海岸線を有し、約150種もの特色ある魚介類が水揚げされているほか、豊かな自然と歴史に育まれた漁村文化、魚食文化が根付いております。
- 平成30年には、水産振興センターの新しい栽培漁業施設が完成しますので、センターを中心に、つくり育てる漁業の進化・発展を図るとともに、この大会を通じまして、ハタハタや北限のフグ、イワガキなど本県の水産物や、本県独自の漁村・魚食文化の魅力を広く全国に発信し、本県水産業の振興、ひいては地域の活性化につなげてまいりたいと思います。